

「納得させて説得を」

NPO法人いじめから子供を守るうーネットワーク（本部・東京）は、いじめ解決を目指すセミナーとパネルディスカッションを天津市におの浜のピアザ淡海で開き、講演会や討論会で、いじめをする子どもへの対応や、すぐに役立ついじめへの対策などについてアドバイスした。

（安永陽祐）



いじめ対策について講演するNPOの井沢一明代表（左）＝天津市におの浜のピアザ淡海で

NPO法人 いじめ対策へ講演

大津 同NPO

は、いじめ根絶を願う保護者らでつくり、大津市でこうした催しを開くのは三回目。学校関係者や保護者ら二十人が参加した。

同ネットワークの井沢一明代表が講演。いじめをする生徒に対して「怒鳴りつけてしかるのではなく、納得させて子どもを説得する」など現場の教師の経験を交えながらいじめ対策を説明した。

学校でいじめられている子どもの保護者へ向けては、具体的にどういじめられているかを連絡帳に記入して教師に伝えることや、写真や診断書などいじめ

の事実が目に見える形で分かるものを学校に持って行くことなどを挙げた。

いじめを受けた子の保護者が教師に「子どもにICレコーダーを持たせる」と伝えたところ、一日でいじめがなくなつたという事例も紹介した。

パネルディスカッションには、二〇〇一年に大津市で少年二人に暴行され死亡した青木悠君＝当時（七）の母和代さん（左）も参加した。「後悔しても命は戻ってこない。親が目を光らせ、子どもの変化に気付くことで救うことができる」と訴えていた。

同ネットワークは、無料でいじめに関する相談を受け付けている。問い合わせは＝電話03（5719）2170＝へ。

学校関係者や保護者らに助言